

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月17日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200309
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム陽だまり日輪荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬2丁目29-37 (電話) 0995-55-0700
自己評価作成日	平成31年1月18日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年2月8日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな住宅街に母体機関は医療法人であり隣接にクリニック、グループホーム、小規模多機能ホーム、デイサービス、サービス付高齢者向け住宅、居宅支援事業所がある。常時、相互に連携・協力し緊急時の対応は迅速に行う体制となっている。地域の交流では自治会に入会し行事、行事準備に参加し図られています。日々の活動では(その人らしく)を大事に考え、見守り、声かけの中で一人一人の表情、心情、動作「～したい」に応えられるよう努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、幹線道路に程近く閑静な住宅街に位置している。近所との関係性もよく、事業所や法人主催の行事、防災など避難に関しても協力関係を築いている。母体は、医療機関で周辺に小規模多機能ホーム、デイサービスセンターなど介護保険関連事業所を運営している。

地域とは、自治会活動を通じて相互に協力関係があり、職員は地域行事の準備を協力支援したり、事業所が主催する、「陶芸教室」に地域の方も一緒に参加するなどしている。また、夏祭り、敬老会、クリスマス会などに招待して地域交流している。事業所は、フラダンスや音楽療法などのボランティアを受け入れたり、幼稚園児との交流や中学生・高校生の職場体験学習、認知症サポーター養成講座の講師を務め認知症ケアや認知症への理解など啓発活動に努められるよう社会貢献し、事業所の取り組みなどについても運営推進会議で話し合っている。また、地域主催の「折り紙教室」には一人でも多くの方が地域交流できるよう介護予防拠点として施設を解放している。

重度化や医療ニーズの高い方もおられ車いす移動の方も多。昼間は、なるべくトイレで排泄してもらっているが、トイレに福祉用具を置きスムーズな排便ができるよう活用されている。職員は排泄のリズムを把握し、食事や運動、内服薬調整や水分摂取など主治医などの専門職と相談しながら支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関・ホール内・事務所・トイレに掲示。朝の挨拶時、唱和し共有実践に繋げている。	介護事業部共通の理念を掲げ、事業所ごとに毎年度独自の事業計画を立案し、取り組み目標に向けて実践している。朝礼時に理念、運営方針を唱和、ネームプレートに掲載して意識統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への散歩、ドライブ、又、自治会の行事等に可能な限り参加し交流を図っている。	自治会に加入し、地域行事（折り紙教室、夏祭り、敬老会など）に参加を支援したり行事の準備を手伝うなど相互に顔の見えるお付き合いをしている。また、法人主催の、地域感謝祭、市民公開講座などのイベントにも入所者や家族が参加したり、防災などの協力関係を築いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人全体での感謝際、市民公開講座を設けて認知症の方への理解や支援の方法を地域の方々へ伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の取り組み、地域への取り組み状況を報告し、それに対してのご意見、助言、提案を頂きサービス向上に努めています。	法人のグループホームや小規模多機能ホームとの合同の会議を開催し、事業所の取り組み状況や入所者の実情を報告してメンバー間で話し合い、出された意見やアドバイスなどをサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、ライフサポートワーカー会議を通して連携に努め今後も構築を図って行きます。	市担当者や地域包括支援センター職員とは協力関係を築いており、電話やメールなどで相談や指導・助言を受け連携している。また、サービス事業者連合会や地域包括ライフサポートワーカー会議、フォローアップ研修などにも参加しスキルアップを図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を中心とし2ヶ月に1回、資料回覧、配布、討議し拘束しないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止や高齢者虐待防止、権利擁護に関する制度の理解や活用方法については、2カ月ごとの会議や研修会などで討議する機会が定期的であり、玄関の施錠や言葉の使い方を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。管理者は、制度改正による身体拘束等の適性化のための指針を整備したいと考えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止委員会を中心とし2ヶ月に1回、資料回覧、配布、討議し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内研修で資料研修、資料配布し、学ぶ機会として活用できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、重要事項説明書等を用い説明を行い、疑問点についても理解・納得頂けるまで説明し同意の上で契約しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の意見、要望を言いやすい雰囲気作りに努め、玄関口には意見箱も設置することで、伝えにくい思いも収集できるように努めています。御意見に対しては、スタッフ間での周知、迅速な対応を行っています。	年1回家族会を開催しているが、今年度は、「味噌作り」をした。また、毎回嗜好調査を実施、家族にアンケートを取り、面会も多いため直接意見を聞いたり、その結果を分析しサービスに活かすようにしている。利用者には日々の暮らしの中で要望を聞き取り、家族には、2カ月ごとにホーム通信や行事カレンダーを郵送し、事業所の取り組み状況などを伝え事業所の実情を理解してもらっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期の面談も実施し、スタッフの悩みや思いも大切にしています。毎月の業務改善・カンファレンス時に意見や提案を聞き役職会議・定例会で上げスキルアップ、反映に努めています。	管理者が交代し、新体制で職務に取り組んでいる。管理者は、毎月の業務改善会議やカンファレンスなどで職員の意見を聞き取り、前向きに検討し実行するなど職員の意見が運営に反映されたり、スキルアップに繋がるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップ支援シートを各自、記入。法人独自のケアスキルマイスター研修受講とそれぞれに目標達成できるよう働きかけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	積極的に研修参加の声かけを行い施設内外研修を通しケアの向上に繋がるよう努めています。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域密着型サービス連合会、ライフサポートワーカーを通して研修、活動、勉強会に参加しサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人様・ご家族様より入居前の情報や意向を聴取し、不安なことや要望等を本人の安心とする環境、信頼関係づくりに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>安心して利用して頂けるよう施設での活動、状況報告 に努め何時であっても話せる環境作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス意向を伺う中で本人・家族のニーズを見極め、他福祉、介護施設の説明を行いニーズにあった対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>傍らに寄り添い傾聴、共感する中で本人様を知り ご本人様に学び暮らしを共に過ごし支え合う関係性に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会・モニタリング郵送時、本人様の状態を伝える事とそれぞれの場面にあった環境作り、対応を心がけより良い関係を保たれる様努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力の下、外出時に馴染みの方々との触れ合い・馴染みの場所に行かれたり、季節のあいさつ状を作成し馴染みの方との関係性がとぎれないように努めています。	馴染みのあるテニスコートでのジョウピンや家族と外食の機会があり、命日にはお寺参りをしたりするなど本人や家族が大切にしてきた生活習慣が途切れることがないように支援している。また、電話の取次ぎや葉書などの代筆を支援し、暑中見舞いや年賀状には、本人自身にコメントを記入してもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	活動や日々の生活で職員が傍らに寄り添い一人ひとりが孤立せず他利用者を意識しあえるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご家族の訪問や電話での交流が継続しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いの尊重に努め、困難な場合は日常の表情・動作から思いや意向を察し、把握に努めています。	職員は、日々のケアや対話の中で気づいたことや思いを感じ取り、家族に確認しながら本人の思いや希望に寄り添い、時には本人の思いや意向を代弁するなどして状況を共有している。ホワイトボードなどは情報共有ツールとして日常的に活用されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前のアセスメントと入居後の傾聴を通して情報把握に努め馴染みの暮らしが継続できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動やコミュニケーションを図る中で本人様のニーズの把握に努め、その人らしさの生活が維持できるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プランと毎月のモニタリング評価の実施、ご家族様、必要な関係者と意見交換により、プランの見直し、修正を行い支援を実施しています。	介護計画は、本人の目標を達成するための本人、家族や職員、地域、事業所が取り組むための設計図であり、必要に応じて本人、家族を交えて話し合い、3カ月ごとに見直している。「私の暮らしまとめシート」では、時系列に過去、現在の暮らしや本人や家族の意向などがまとめられており、共通認識が図りやすい。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	認知症対応共同生活介護記録を活用し日々のケア・結果を記録し又、申し送りノートにも記入する事で職員間での情報共有を図られ実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	理学療法士による動作能力の評価、機能維持の為に実施できる運動の情報を頂く等、必要に応じ関連事業所との連携を図りニーズに応じられるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・ボランティアの協力の下、行事等の余興を通し安全で豊かな暮らしを楽しめるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な受診の際には職員（基本 看護師）付き添いにて対応。ご家族了解の下、歯科も含めたかかりつけ医による訪問診療も対応している。	母体医療機関は、脳外科、皮膚科の専門医で基本は外来受診であるが、なかには訪問診療の方もいる。入居時、本人や家族の望むかかりつけ医に最大限配慮しながら医療機関を選定している。介護職を兼務した看護師がおり、通院介助や緊急時、内服管理などの医療面をフォローしている。他科受診は、家族にも協力をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の健康チェックにより状態把握し、異変や気づきがあった場合、迅速にDr. 報告し適切な受診、看護が受けられるよう支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時までの経過報告、ご本人の情報提供を行い退院に向けてのカンファにも参加することで情報共有に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や看取りに対する指針を定め、家族に説明し同意を得ているが体制が整っていない。</p>	<p>看取りに関する指針を定め、事業所の体制について、本人、家族に説明、同意を得て支援している。看護師が非常勤のため24時間の体制に不安があり、看取りはしていないが、緊急時や重度化などの段階に応じた対応は、主治医と連携を図り、チームケアにて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>地域自治会主催の応急手当研修に定期的に参加し、応急、救急手当における意識付けを行い、知識の習得に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災委員を中心とし定期的な避難訓練・同法人事業所との合同避難訓練の実施 地域自治会主催避難訓練への参加し地域との協力体制を築いています。</p>	<p>年1回消防署立ち合いのもと、避難訓練を実施、他3回は自主的に訓練を実施している。近隣住民の協力体制があり、地域主催の避難訓練への参加や消火訓練を共におこない防災意識を高めている。また、各居室にヘルメットを準備、防災頭巾もあり、水やレトルト食品などの備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	様々な場面で一人ひとりの尊厳やプライバシーに配慮できるよう研修委員会を中心に接遇についての研修も行うことで職員間でも気づきがあった場合、注意・声かけしています。	接遇マナーなどの研修や常日頃の職員の勤務態度やケアへの取り組み状況を観察し、管理者や職員同士で不適切な言動などがないか確認をしたり、必要に応じて指導や助言を行い誇りやプライバシーに配慮したケアに努めるよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	プランに沿ってその方の「～したい」の実現ができるよう努め、自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし体調に考慮しながら希望にそえるよう努めています。困難な場合は日常の表情・動作から思いや意向に添えるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好みに合わせた服装や身だしなみを心がけ、散髪も訪問美容を取り入れ、整容への意識を大切にしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	給食委員会を毎月開催し、利用者様の嗜好等、献立について管理栄養士と話し合い委託業者にて調理しています。形態についても個別に刻みやミキサー食にて対応しています。	外食サービスを活用しているが、朝食は職員が調理している。給食委員会があり、行事食のメニューや食事形態、嗜好などについて話し合い、月1回は、料理教室を開催し、職員と一緒にお菓子作りを楽しんでいる。家族会では、家族と一緒に味噌作りをした。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量、食事形態を本人様が摂取しやすい方法での提供に努め状態、状況に合わせて分食も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、口腔ケアの実施と夕食後の洗浄剤での除菌等、清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表の活用により排泄パターンを把握し、一人ひとり 日中と夜間の能力に合わせて対応しています。	ポータブルトイレの利用はなく、昼間は、なるべくトイレでの排泄を促したり、トイレでは、「ふんばりくん」という福祉用具を活用している。重度化もあり、おむつ対応の利用者もいるが、定期的におむつの勉強会を開催し、知識や技術を研鑽するなど排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便リズム、間隔の把握を行い食事内容や腹部マッサージを実施。便秘が生じた場合、Dr. 相談し指示の下、頓服薬にて対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や安全面に配慮し、ご本人様の状態に合わせて時間の調整、湯温の調整で心地良く入浴できる環境作りに努めています。	週3回程度の入浴を基本にしているが、本人の希望や必要性に応じていつでも入浴ができるよう柔軟に取り組んでいる。状況によっては、二人介助だったり、シャワー浴や清拭、足浴など、入浴方法を検討し清潔保持ができるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の様子や体調に合わせて、居室での昼寝も取り入れ、夜間についても巡視にて安心して休んで頂けるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Drの指示の下看護師により服薬セットし服薬変更、詳細等の情報提供を行い職員間での薬の理解、誤薬にならないよう努めた。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や嗜好品を把握し好きな事や散歩、買物外出、ドライブへと気分転換が出来た。重度化の方に対して活動が少なかった。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節を感じて頂けるようドライブ、散歩等、提供に努めた。重度化の方に対して体調不良、日動変動が多くなっている為、難しくなっている。	近所を散歩したり、通院時に車いすで病院までのコースを散策したり、ドライブがてら海や港に行ったり、グランドゴルフの見学、季節の花見見物などに個別に出かけている。また、家族と外食に行かれる方、温泉や自宅訪問、美容院などに行かれる方もおられるため個別の外出も勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりお金の所持はありませんがご本人様をご希望された場合、事業所立替えにて使えるよう支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>御家族様、ご友人の電話の取り次ぎや手紙等については職員と共に取り組んでいます。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様が安心して過ごして頂けるよう障害物、危険物の排除、動線の整備に努め また季節に合わせた作品の飾りつけなどし居心地良く過ごして頂けるよう心がけています。</p>	<p>住宅街にあっても建物全体にウッドデッキが設置されているため開放感があり、いつでも散策ができる環境である。対面式キッチンで、畳部屋があり、ソファが配置されテレビ鑑賞したり、観葉植物や外の景色を眺めながらくつろげる空間であり、季節を感じさせる装飾や習字、切り絵などが掲示してあるなど生活感がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースで過ごされ方が多い為安心して過ごして頂けるよう環境作りし空調の調整などの工夫を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅より使い慣れた家具、寝具を持ってこられており又、その都度 本人様の要望を家族様に相談し居心地よく過ごして頂けるよう心がけています。	全て居室は洋式であり、使い慣れた物を持ち込んで居心地よく過ごせるよう工夫している。また、衝撃吸収マットレス、ベッドと壁の間に布団などを置いて怪我や転落などがないよう対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの出来る事をご自分のペースで活動して頂けるよう声掛け、見守りし安全に生活できるよう工夫しています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない